

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和元年 6 月 2 5 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 愛知県刈谷市司町7丁目38番地	
氏 名 関 興 業 株 式 会 社	
代表取締役 関 淳 之	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0566-23-1434	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	関 興 業 株 式 会 社
事 業 場 の 所 在 地	愛知県刈谷市司町7丁目38番地
計 画 期 間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	総合工事業
② 事 業 の 規 模	元請完成工事高：267,783万円
③ 従 業 員 数	101人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	舗装工事:アスファルトがら→再生処理業者に委託し再生アスファルト合材として再資源化 土木工事:コンクリートがら→再生処理業者に委託し再生骨材として再資源化 汚泥→再生処理業者に委託して改良土として再資源化 解体工事：木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 石膏ボード→再生処理業者に委託して石灰、地盤改良材として再資源化 石綿含有産業廃棄物→最終処分業者に委託して埋立処分

(日本工業規格 A列 4 番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトがら、コンクリートがら、木くず、金属くず、石膏ボード、廃プラスチックがらくず、陶磁器くずはそれぞれ分類している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工事現場でできる限り分別をし、混合物の量を減らしたい。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

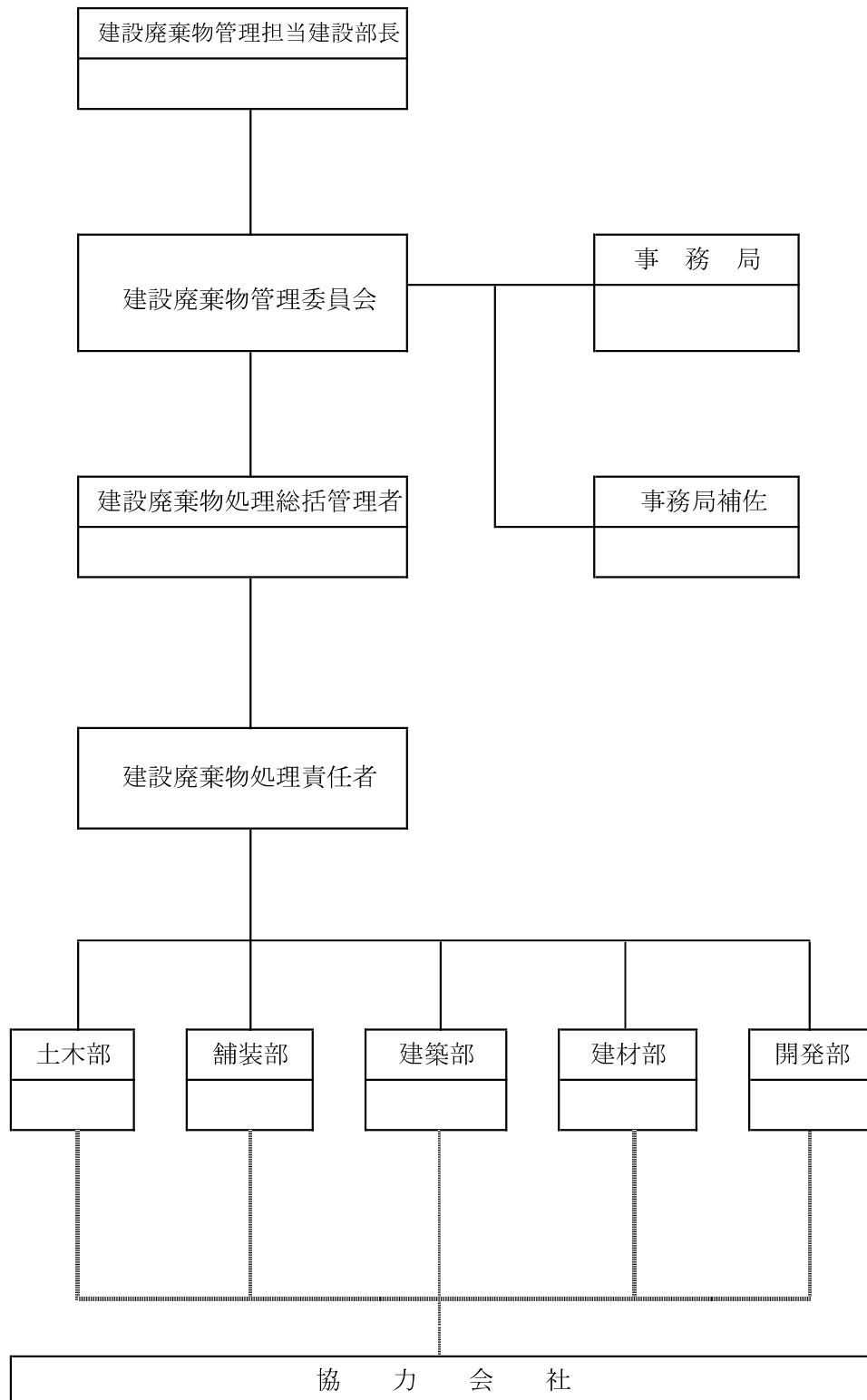
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

建設廃棄物管理体制組織図

2019 年 4 月 1 日



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	前年度(平成30年度)実績	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥	271.0 t
	廃プラスチック	34.0 t
	紙くず	3.0 t
	ガラス・陶磁器	13.5 t
	木くず	147.1 t
	金属くず	24.0 t
	石膏ボード	26.9 t
	がれき類	18,275.3 t
	混合物	503.2 t
	石綿含有産業廃棄物	27.2 t
	特定有害汚泥	0.4 t
	繊維くず	0.5 t
	(これまでに実施した取組)	
	がれき類(アスファルト塊、コンクリート塊)の抑制について発注者の要請によるので舗装、土木工事、解体工事は困難であるが100%再利用できる	
	その他については搬入品の梱包材の簡易化を行った	
②計画	目標	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥	257 t
	廃プラスチック	32 t
	紙くず	3 t
	ガラス・陶磁器	13 t
	木くず	140 t
	金属くず	23 t
	石膏ボード	26 t
	がれき類	17,362 t
	混合物	478 t
	石綿含有産業廃棄物	26 t
	特定有害汚泥	0 t
	繊維くず	1 t
	(今後実施する予定の取組)	
	受注高及び施工方法により量の増減が激しいため前年実績より目標を定めた	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	前年度(平成30年度)実績	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量
	汚泥	0 t
	廃プラスチック	0 t
	紙くず	0 t
	ガラス・陶磁器	0 t
	木くず	0 t
	金属くず	0 t
	石膏ボード	0 t
	がれき類	0 t
	混合物	0 t
	石綿含有産業廃棄物	0 t
	特定有害汚泥	0 t
	繊維くず	0 t
	(これまでに実施した取組) 分別収集の強化により再利用の向上を目指す	
②計画	目標	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量
	汚泥	0 t
	廃プラスチック	0 t
	紙くず	0 t
	ガラス・陶磁器	0 t
	木くず	0 t
	金属くず	0 t
	石膏ボード	0 t
	がれき類	0 t
	混合物	0 t
	石綿含有産業廃棄物	0 t
	特定有害汚泥	0 t
	繊維くず	0 t
	(今後実施する予定の取組) 分別収集の強化により再利用の向上を目指す	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	前年度(平成30年度)実績		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
	汚泥	0 t	0 t
	廃プラスチック	0 t	0 t
	紙くず	0 t	0 t
	ガラス・陶磁器	0 t	0 t
	木くず	0 t	0 t
	金属くず	0 t	0 t
	石膏ボード	0 t	0 t
	がれき類	0 t	0 t
	混合物	0 t	0 t
	石綿含有産業廃棄物	0 t	0 t
	特定有害汚泥	0 t	0 t
	繊維くず	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	目標		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
	汚泥	0 t	0 t
	廃プラスチック	0 t	0 t
	紙くず	0 t	0 t
	ガラス・陶磁器	0 t	0 t
	木くず	0 t	0 t
	金属くず	0 t	0 t
	石膏ボード	0 t	0 t
	がれき類	0 t	0 t
	混合物	0 t	0 t
	特定有害汚泥	0 t	0 t
	繊維くず	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	前年度(平成30年度)実績	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
	汚泥	0 t
	廃プラスチック	0 t
	紙くず	0 t
	ガラス・陶磁器	0 t
	木くず	0 t
	金属くず	0 t
	石膏ボード	0 t
	がれき類	0 t
	混合物	0 t
	石綿含有産業廃棄物	0 t
	特定有害汚泥	0 t
	繊維くず	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	目標	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
	汚泥	0 t
	廃プラスチック	0 t
	紙くず	0 t
	ガラス・陶磁器	0 t
	木くず	0 t
	金属くず	0 t
	石膏ボード	0 t
	がれき類	0 t
	混合物	0 t
	石綿含有産業廃棄物	0 t
	特定有害汚泥	0 t
	繊維くず	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	前年度(平成30年度)実績					
	産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
	汚泥	271.0 t	171.6t	271.0 t		
	廃プラスチック	34.0 t	0.5t	34.0 t		
	紙くず	3.0 t	0.2t	3.0 t		
	ガラス・陶磁器	13.5 t		13.5 t		
	木くず	147.1 t	116.3t	147.1 t		
	金属くず	24.0 t		24.0 t		
	石膏ボード	26.9 t	24.4t	26.9 t		
	がれき類	18,275.3 t		18,275.3 t		
	混合物	503.2 t		503.2 t		
	石綿含有産業廃棄物	27.2 t	3.2t	t		
	特定有害汚泥	0.4 t		t		
	繊維くず	0.5 t		0.5 t		
	(これまでに実施した取組)					
	可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる					
②計画	目標					
	産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
	汚泥	257 t	150t	257 t		
	廃プラスチック	32 t	3t	32 t		
	紙くず	3 t		3 t		
	ガラス・陶磁器	13 t		13 t		
	木くず	140 t	100t	140 t		
	金属くず	23 t	2t	23 t		
	石膏ボード	26 t	20t	26 t		
	がれき類	17,362 t		17,362 t		
	混合物	478 t	50t	478 t		
	石綿含有産業廃棄物	26 t	3t	t		
	特定有害汚泥	0 t		t		
	繊維くず	1 t		1.0 t		
	(今後実施する予定の取組)					
	優良認定処理業者の選定					